

# 安全パトロール

## 新潟港公共水準測量

(北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所)

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当ではない女性社員による安全パトロールを実施しております。

日ごろ現場経験のない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。

今回は、新潟港周辺にて安全パトロールを実施してまいりました。



### 安全パトロール実施状況



作業前ミーティング



各現場を確認



パトロール結果報告

作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や作業時の注意点について情報共有を行う為、安全掲示板を活用し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、第三者目線で確認を行った。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について安全対策案の検討を行った。

### 安全対策実施状況

#### ①作業状況箇所注意点を抽出・安全対策マップの整理

##### 作業箇所注意点

- 交通量の多い箇所、歩道がなく狭い道路での作業時には通行に注意する。
- 堤防上はケーンの段差・隙間・溝が多数ある為、移動や測量機器の運搬の際注意する。
- 堤防上は日陰がなくコンクリートからの照り返しで体感温度が上がる為、熱中症に注意する。



現地踏査時に作業箇所の確認を行い、現地状況の把握を行った。現場周辺の注意点を抽出して安全対策マップを整理し、注意箇所を作業担当者へ周知し、測量作業時の安全対策の検討を行った。

#### ②安全対策の検討・安全対策実施結果

##### ①交通誘導員の配置



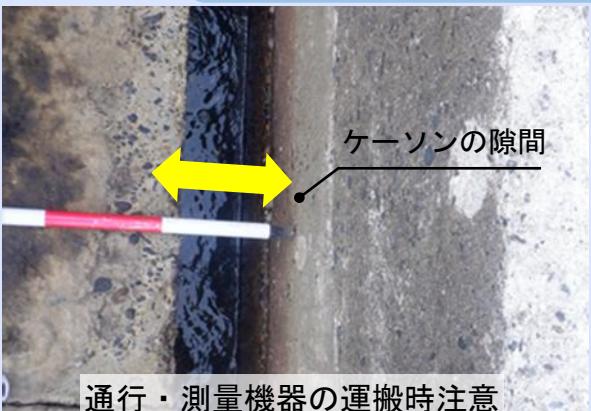
交通量が多い作業箇所



交通整備の様子

交通量の多い作業箇所や、歩道がなく狭い道路での測量作業時には、交通誘導員を配置し交通整備を行うことで事故防止を図った。

##### ②堤防上（ケーンの段差・隙間・溝）の危険箇所対策



ケーンの隙間



カラースプレー  
マーキング

ケーンの段差や隙間、溝がある箇所は、危険箇所として明確にする為にカラースプレーでマーキングし、作業担当者へ注意を促す対策を行った。

##### ③堤防上での熱中症対策



対策①

熱中症対策  
アドバイザー

飲み物・塩分タブレットを配布



対策②

サマータイム導入  
7:30 作業開始

熱中症アドバイザーとして社員が随行し、高温になりやすい堤防ではWBGT(暑さ指数)が26度以上で声掛けを行った。またサマータイムを導入し熱中症の危険を回避した。

作業現場での危険箇所・注意点を共有し、安全対策の検討を行うことで作業環境が整備され、安全に作業が行われておりました。今後も「安全・安心」な現場作業を行うために取り組んでまいります。